

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第10回議事要旨

(平成28年3月14日(月)16時30分～17時30分、日本銀行本店会議室)

- 第9回議事要旨が承認され、日本銀行ホームページ上で公表することが承認された。
- 事務局から、リスク・フリー・レートに関する国際的な議論の動向についてアップデートが行われた。
- 市場構造の分析・調査に関するWGから、円金利スワップ市場におけるリスク・フリー・レートの利用の射程を把握するためにメンバーに対して実施したアンケート結果が報告された。これによると、円金利スワップ取引全体のうち3～4割は、必ずしも変動金利としてLIBORやTIBORを用いる必要はなく、潜在的にリスク・フリー・レートへ移行しうるとの推計結果が得られた。
- 市場整備に関するWGからは、リスク・フリー・レートの優先的な候補である無担保コールレート・翌日物を参照金利とするOISについて、利便性を高めるための取引慣行の見直し案が報告された。具体的な見直し項目としては、「金利支払頻度」、「金利支払カレンダー」、「日数の計算」を変更するとともに、他指標とのベースス・スワップについて、現在、2つの固定・変動スワップを組み合わせで行われている取引を、1つの変動・変動スワップにまとめることが盛り込まれた。
- 事務局から提出された市中協議文書案について議論が行われた。一部のメンバーからは、日本銀行によるマイナス金利政策の導入によって無担保コールレート・翌日物の裏付けとなる市場の取引量や構造が変化していることについて検討が必要との意見が示された。この点については、市中協議における関係者からの意見も踏まえて検討することとなった。
- 市中協議文書は3月末に公表した上で、4月28日期限で意見募集を行うこととされた。また、市中協議文書に関するアウトリーチとして、短期金融市場取引活性化研究会で説明を行うとともに、同研究会に参加していない市場参加者向けに説明会を行うこととなった。
- 議長より、5月中旬の次回会合では市中協議の結果について議論を行うことが提案され、異論なく了承された。

以 上

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第 10 回会合 参加者

(メンバー)

議	長	み ず ほ 銀 行	木 村 淳 一
副 議	長	野 村 證 券	橋 本 茂
		S M B C 日 興 証 券	尾 島 一 博
		S M B C 日 興 証 券	中 尾 司
		ゴールドマン・サックス証券	田 口 研 吾
		大 和 証 券	帯 刀 和 直
		大 和 証 券	菊 池 拓 也
		ド イ ツ 銀 行	永 田 育 真
		野 村 證 券	中 河 原 修 平
		野 村 證 券	櫻 井 祥 文
		バ ー ク レ イ ズ 証 券	村 山 大 介
		バ ー ク レ イ ズ 証 券	森 原 恒 輔
		み ず ほ 銀 行	笠 松 義 人
		み ず ほ 銀 行	小 森 亮 介
		み ず ほ 証 券	葛 西 弘 道
		三 井 住 友 銀 行	井 原 直 樹
		三 井 住 友 銀 行	嶋 忠 明
		三 菱 東 京 U F J 銀 行	片 岡 大 輔
		三 菱 東 京 U F J 銀 行	根 木 信 和
		三菱UFJモルガン・スタンレー証券	関 岳 洋
		ユービーエス・エイ・ジー	井 川 雄 亮
		ユービーエス・エイ・ジー	井 上 裕 嗣
		I S D A	有 馬 康 修
		I S D A	森 田 智 子
		全 国 銀 行 協 会	小 山 寛 隆
		全 国 銀 行 協 会	永 田 和 浩

日 本 証 券 業 協 会
日 本 証 券 業 協 会
日 本 証 券 業 協 会

武 田 創
中 瀬 裕 也
丸 野 雅 人

(オブザーバー)

金 融 庁
日 本 銀 行
日 本 銀 行
日 本 銀 行

三 田 真 史
藤 田 研 二
東 善 明
清 水 茂

(敬称略)

以 上